

## 国土の質的転換を目指した国土基盤の整備に関する更なる論点

### 1. 目指すべき新たな国土基盤の姿に関する論点

少子高齢化・人口減少、高度IT化、自然災害の激甚化等に対応し、安全・安心・安定な国民生活の場となる魅力ある国土の形成に向けた国土の質的転換を図る上で目指すべき国土基盤の姿はどのようなものか？

【例えば以下のような国土基盤の姿が考えられないか】

- ジャパンブランドと呼べる魅力とソフトパワーに溢れるわが国国土の形成を支える国土基盤
- アジア経済とのシナジー効果を生かしわが国の地域経済の自立と持続的な発展を支える国土基盤
- 実空間とIT化によってもたらされるサイバー空間の一体化を図り、豊かな都市生活と知識産業、地域コミュニティを支える国土基盤
- 計画的な都市の縮退に合わせて質の高い都市空間と自然の回復をもたらす国土基盤
- 循環型社会の構築と経済のグリーン化を先導する環境都市のジャパンモデルを支える国土基盤

### 2. 国土の質的転換のための主要なアクションに関する論点

都市の高質化や国土の安全の更なる向上に向け、道路、河川、鉄道、港湾、防災施設等の既存ストックが有する機能上、空間上のポテンシャルを引き出すために、国土基盤施設の整備はどうあるべきか？

【例えば以下のような施策の展開は考えられないか】

- 総合的なアセットマネジメントの実施、
- 基盤機能のネットワーク化による機能の高度化、
- 既存ストック空間を活用した自然環境の保全・修復・再生 等

安全で安心な国土の形成に向けた防災・減災機能の整備に向け、ハードの防災施策の目指す水準はどのようなものか？またハードの施策を補完する

## ソフト施策はどうあるべきか？

### 【例えば以下のような施策の展開は考えられないか】

- 交通基盤の耐震補強とネットワーク化による緊急・代替輸送ルート確保、
- 適正防御水準の確保を目指した河川堤防や砂防施設、津波防波堤等の整備、維持管理とハザードマップの整備、防災意識の啓発、広域的な行政、コミュニティの連携による広域防災・危機管理体制の確立と被災情報や安否情報の提供等

資源循環型等環境にやさしい国土の形成に向けた国土基盤施設の整備はどうあるべきか？

### 【例えば以下のような施策の展開は考えられないか】

- 国内及びアジアにおける循環資源の広域流動を促進しリサイクルの効率化を図るための、リサイクルポート、エコタウン等の環境産業・都市づくりに関するジャパンモデルの提示、
- 交通部門における環境負荷の軽減に向けたトラックと鉄道、海運等の適切な輸送分担を促進するための、マルチモーダル輸送システムの整備等

地域ブロック自立と東アジアとの交流・連携を支える日帰り可能交通圏及び翌日配達可能圏の形成に向けた国際交通・情報通信基盤はどうあるべきか？

### 【例えば以下のような施策の展開は考えられないか】

- 小型機材（リージョナルジェット等）や高速フェリー・R o R o 船を駆使し東アジアの諸都市と地域ブロックを直結する航空ネットワーク及び海上高速輸送網の形成促進並びにこれら迅速な人的交流と物流のシナジー効果を生かした関連産業の集積（シームレスアジアの形成）
- 上記を支えるソフト基盤として、アジアのパートナー諸国との間でのシャーシー等の相互乗り入れが可能な体制の構築、海運のカボタージュ規制の相互解除、東アジアと日本の各諸都市間を結ぶ航空路線の利便性の向上方策等の検討を含むスピーディでシームレスな物流一貫輸送体制

## の整備促進（アジアスタンダードの創設に向けた日本のイニシアティブ）

### 地域ブロックの自立と相互交流を支える国内交通、情報通信基盤の整備はどうあるべきか？

【例えば以下のような施策の展開は考えられないか】

- 地域ブロック間を相互に直結する航空輸送ネットワークの形成を促進
- 地域ブロックの重要な中心都市を相互に連絡する高速幹線鉄道及び高規格道路等の交通回廊を複数ルート確保する等、発災時のフェイルセーフティを備える高速幹線交通ネットワークの形成を促進

### 縮退する都市のモビリティを支える交通情報通信基盤の整備はどうあるべきか？

【例えば以下のような施策の展開は考えられないか】

- 環状道路等の整備による通過交通の排除とパークアンドライド方式による都市鉄道の活用等を通じた公共交通主体のモビリティの確保
- 中心市街地における交通のユニバーサルデザイン化と自転車や歩行者（グリーンモード）にやさしい交通環境の整備

### 地域コミュニティと人的資源を育て支える交通情報通信基盤の整備はどうあるべきか？

【例えば以下のような施策の展開は考えられないか】

- 地域の日常生活を支える高齢者等交通弱者に優しい人流・物流機能確保に向けたコミュニティ道路の地域の選択に基づく整備
- サイバー空間における均衡ある生活・ビジネス環境の確保に向け、光ファイバー等の情報通信ネットワーク整備によるデジタルディバイドの解消とコミュニティ LAN の形成促進等

東アジア諸都市との連携を梃子としたビジター産業等ソフトパワーによって地域社会を活性化するための施策の展開はどうあるべきか？

【例えば以下のような施策の展開は考えられないか】

- 地域ブロック中心都市のアメニティの向上及びユニバーサルデザイン

化、シーニックバイウェイ（沿道景観の改善）、ジャパンブランド製品の取り揃え、国際団体旅行向けチャーター便の発着環境の整備、近隣国や地域ブロックの観光資源をも活用した観光パッケージ作り等を通じた観光ハブの形成

- 観光ハブと地域コミュニティを結ぶ道路・鉄道等交通網の整備、ユニバーサルデザイン施設の重点整備等によるビジターの円滑で速やかな目的地への旅行環境の確保
- ジャパンブランド産品を速やかにアジアの国々に送り届けるアジア宅配便
- 地域コミュニティ及び人材がアジア諸都市と直接交流・情報発信し、商談をまとめることができるビジネス環境の整備と、J-ポップス、J-アニメ、ファッション等の情報コンテンツ提供を可能とするアジアブロードバンドの形成

### 3 . 地域ブロックに対する全国計画のメッセージに関する論点

地域ブロックが、自然気象・海象、地理的条件、風土・歴史、東アジアの中との結びつき等の地域の特性を生かした広域地方計画を自らの発意と自立に基づいて作成し実現してゆけるよう、全国計画はどのようなメッセージを発するべきであろうか？

【例えば以下のようなメッセージは考えられないか】

- 地域における国土基盤の整備にあたって、地域ブロックそれぞれが独自に、地域の実情に合った地域にとって最もふさわしい整備水準と優先順位を定めることが出来るようにすべき。
- 東アジアとの連携にあたっては、過去の交流の歴史と蓄積を生かしつつ、観光等による人的交流と経済上の相互依存関係の深化を梃子に、それぞれの地域が文化・経済の両面において最もふさわしい連携パートナー（都市・地域）を選択すべき。

# 国土基盤専門委員会における主要な論点

## 国土を取り巻く状況

少子高齢化、人口減少、農村の荒廃、ライフスタイルの変化等

アジア経済との相互依存の深化

気候変動等による自然災害の多発

高速交通、情報通信における技術革新の進展

大転換期との認識

## 国土基盤の課題

(国土基盤整備水準のデマンドサイドとサプライサイドの調和)

- ・維持更新負担の増大
- ・わが国の国際競争力の低下
- ・外国人観光客の増加への対応
- ・自然災害の激甚化
- ・インナーシティ問題と逆スプロール化の進展
- ・デジタル・ディバイドの是正
- ・災害発生時のサービス途絶リスクの存在

国土の質的転換を目指す

持続可能で安全・安心・安定な国土の形成

世界に開かれた魅力ある国土の形成

地域ブロックの交流連携

地域ブロック相互の交流・連携

地域ブロックと東アジアの交流・連携

地域ブロックの国土マネジメント  
生活圏域の都市的サービス

空間の活用・  
機能の高度化

地域社会の人とコミュニティを支えるモビリティ

東アジアとの交流・連携効果を梃子とした地域の自立・活性化

交通  
情報通信  
基盤の整備

防災  
減災  
基盤の整備

環境にやさしい  
基盤の整備

ネットワーク化

ハードとソフトの組み合わせによる  
防災・減災機能の向上

既存ストックの  
アセットマネジメントと戦略  
的活用

自然、景観の保全・回復

グリーンロジスティクス  
への活用

循環型社会の構築と経済のグリーン化  
を先導する静脈インフラ